

マレーシア若手行政官、小学校教育から 日本式組織マネジメントを学ぶ

私たちには当たり前の小学校班活動、給食当番、掃除から

親日家として知られるマハティール首相がこの度再度首相となり話題です。このマハティール首相が1981年に提唱した「ルック・イースト(日本の発展から学ぶ)政策」はこれまで脈々と続いており、マレーシアから多くの行政官が毎年日本へ派遣されています。今回は、マレーシアの行政サービス向上のため、20名の若手マレーシア政府行政官が日本を訪問し、特に日本式の組織経営について学ぶ予定です。

滞在中は、組織経営改善のアイデアを多様な形で企業経営に導入している関西企業への訪問を通して、カイゼンや5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)といった日本発の取り組みについて学ぶだけでなく、小学校における班活動、給食当番、掃除活動の視察を通し、チームワーク・コミュニケーションといった組織文化をはぐくむ土壌についても考える機会を持ちます。ぜひ取材していただければと思います。

場所: 芦屋市立朝日ヶ丘小学校 (兵庫県芦屋市朝日ヶ丘町10番10号)

日時: 10月18日(木) 10:30~11:35 授業の様子を見学(班活動等)

11:40~12:25 外国語活動に参加

12:35~13:05 給食(給食当番活動)の様子を見学

13:05~13:25 休憩

13:25~13:40 清掃見学

13:45~14:30 交流会

*朝日ヶ丘小学校の5年生は事前に社会見学でJICA関西を訪問、マレーシアについて知る活動をされています。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 業務第二課 大井 佳子

TEL 078-261-0388 e-mail: Oi.Yoshiko@jica.go.jp